

山中比叡平里山倶楽部 第50回幹事会 議事録

2015年8月11日 1時半～3時

出席 田畑、藤田、最上、大津、影山、草壁 6名

1. 国交付金による第6回イベント。8月7日。参加者20名。
午前は真ん中広場の整備。スタードームの組み上げとツリーハウスづくり。
ツリーハウスは秋山・更家が数本の木を支えに床を組む。斜面で水平にするのはヒトの感覚とはえらく違うものだ。
スタードームの組み立ては数人で可能と踏んでいたが、4つ割の孟宗竹は硬く10人近くの大人が協力し力任せにしてやっとできた。次回に、補強材を5本入れたら完成する。次にスタードームを組み立てる時には8つ割くらいが適当だろう。文化祭の時にもつくって幼保育園に進呈してはいかがか。
午後の講演。三丁目の久保田さん元京都大学教授による「シカとマダニとクマの話」は出席15名。比叡平周辺の植生と動物相の豊かさ、生物多様性が高いことがよくわかった。しかし、それもシカの食害で植物が食べつくされ、シカの食べない数種の植物のみに変わりつつある。そのために植物を食べる動物が減り、それを食べる動物も減りと生物多様性が減少しつつある。特にシカの害が大きく、シカを捕獲減少させなくてはいけない。豊富な写真で示された。よくわかる講演であった。出席者が少ないのはもったいない。
2. 今後のイベントスケジュールと講師依頼の担当者を確認した。10月25日の防鹿ネット・わな設置実習の兵田大和さんへの依頼は草壁が担当。
3. 国交付金第7回イベント。
午前は、神戸大学の黒田慶子さんの講演「里山づくりと森林資源の循環」。松枯れナラ枯れの専門家です。
午後は、真ん中広場でスタードーム・ツリーハウスづくり。
4. イオン環境財団助成金来年度分の応募書類を配布、検討した。
5. イオン環境財団助成金による秋の植樹会。

日程を小学校と調整する（田畑代表、藤田副代表が担当）。真冬を除くと12月か3月になるのではないか。サクラの植樹を希望されたが、校庭の土地条件ではソメイヨシノは育ちにくい。オオシマザクラやヤマザクラなら育成可能かも。ミツバツツジ以外にもこれらの植樹も考える。

6. 植樹は、国交付金による今年秋のイベントごとに実行する（担当：大津・藤田）。

7. 当面の予定

19日（水）9時。桂広場。スタードーム用に竹の採取・工作。

26日（水）9時。青い鳥の谷で除草作業。蕎麦の種をまくことを念頭に。

8. 事務局最上から労務費実績の報告を受けた。

話題。融雪剤をなめてシカは増える。

反芻動物のシカは特に塩分を必要とする。冬場に融雪剤をなめて塩分を摂取することによって冬場の死亡率が急減し増殖率が高くなっている可能性がある。

硝酸塩を含む餌を与えてシカを処分する方法がほぼ確立したようだ。